

CONTENTS

大阪消防 5

表紙：万博消防センター配備の
消防車両

- 01：コンテンツ／災害概況
- 02：特集 2025年 大阪・関西万博
～これが万博消防センターだ！～
- 08：【職務】春の火災予防運動オープニングイベント
- 10：明日に備えて過去に学ぶ
- 11：人材育成のヒント
- 12：ケイボウタイムズ
- 14：【職務】第72回 消防職員意見発表会
- 16：コマンドアイ
- 18：イクキュー
- 20：救急いろは
- 22：実録!!調査鑑識
- 24：We are Rookies!
- 26：大阪の消防NEWS
- 28：住宅用火災警報器で歌おう
- 29：【職務】文化財防火デー消防合同訓練
- 30：地域防災の輪、ひろがっています
- 31：こんな企業あります！
- 32：落語DE火の用心
- 33：自衛消防隊紹介／女性防火クラブだより
- 34：【職務】消防施行法令第8条の改正について
- 36：教えて〇〇課！
- 37：現場に活かす！救急救命士国家試験問題
- 38：消防漢字ガール
- 39：MY★ライフハック／
救急安心センターおおさかだより
- 40：アニマル環状線／編集後記

大阪市の災害概況

◎火災概況

	建物火災				小計	車両	船舶	爆発	その他	合計
	全焼	半焼	部分焼	ぼや						
3月中件数	3	3	17	37	60	1	0	0	7	68
令和7年 3月末累計	7	7	54	110	178	6	0	0	23	207
令和6年 3月末累計	3	4	46	100	153	13	0	2	10	178
累計比較	4	3	8	10	25	▲7	0	▲2	13	29

◎救急概況

	救急出場
3月中件数 (概数)	27,366
令和7年 3月末累計	72,480
令和6年 3月末累計	71,785
累計比較	695

◎火災・救急以外の消防活動概況

	救助活動	危害排除	水防活動	その他
令和7年 3月末累計	1,247	354	0	352
令和6年 3月末累計	1,198	336	0	291
累計比較	49	18	0	61

いっしょに、いこな！ 2025年大阪・関西万博 ～これが万博消防センターだ！～

いっしょに、いこな！ 2025年大阪・関西万博 ～これが万博消防センターだ！～



研修の様子



訓練の様子



大阪・関西万博消防センターでの訓練・研修

2月3日より毎日勤務で訓練及び研修を開始し、2月25日からは大阪・関西万博消防センターでの隔日勤務が始まりました！

各署から選りすぐりのメンバーが集まり万全を期していますが、万博開催までの期間にはさらに様々な訓練や研修を行いました。万博期間中は、死角なしの消防隊として待機警戒に当たります！

3月27日（木）、EXPOナショナルデーホールにて大阪府警察と当局合同で発足式が行われました。

この合同発足式は、安全・安心な大阪・関西万博の実現のため、警察・消防の連携を強固なものにし、その決意を新たにするために行われました。当局としては、6か月にわたる期間中、165か国と7つの国際機関が参加し、約2820万人もの来場者が見込まれるこの世界的な万博というイベントに対して、誇りと使命感を持ち職務を全うしていきます！

大阪府警察会場警察隊 大阪・関西万博消防センター合同発足式

4月13日（日）、ついに大阪・関西万博が開幕しました！

前月号では、大阪・関西万博消防センター（以下、「万博消防センター」という。）及び大阪市消防局と株式会社モリタホールディングス（以下、「モリタHD」という。）との間で共同開発した協賛車両の一部をご紹介しました。

今月号では、その続編として、大阪府警察会場警察隊と大阪・関西万博消防センター合同発足式と最新鋭のEV指揮車などのその他の協賛車両についてもご紹介します。

Expo Fire Station ～施設紹介～

事務室



事務室は入口から予防担当、消火隊、救助隊、救急隊の席となっており、円滑な事務を行えるようになっています。万博を守るため日々精進！！



こんなところで働いているよ～

脱衣所



脱衣所には、シャワー室が4室、洗濯機2台、乾燥機2台が備えられており、職員が清潔維持できる環境が整っています。

待機室



3月までは段ボールベッドを、4月以降は折り畳みベッドを使用します。

作戦会議室



こちらの作戦会議室では主に研修やミーティングを行っています。



万博消防センターレイアウト

車庫



車庫の広さは443㎡。消防車両のスムーズな出動を支える重要な拠点です。消防車両が効率的に配置され、機動力を最大限に発揮できる環境が整っています。

私たちが大阪・関西万博を守ります！！



大阪・関西万博消防センター警防職員



大阪府警察会場警察隊 大阪・関西万博消防センター合同発足式

開幕までの大阪・関西万博消防センター

2月下旬から万博開幕までは、主にパビリオンの視察、警防資料の作成及び多種多様な訓練を実施する等充実した日々を過ごしました。

多数の海外パビリオン、制限された緊急車両の走行経路、誰が見てもそれらが分かるよう綿密な警防資料の作成。

知識が豊富で熱い思いがあふれる隊員が多数集まり訓練したからこそ、終わりが見えないほど白熱した訓練後のミーティング。

長いようで短い準備期間を経て、万博が開催されている現在は万全な体制で待機警戒を行っています。



パビリオン視察の様子

いっしょに、いこな！ \ 2025年 大阪・関西万博 / ～これが万博消防センターだ！～

ブーム付き多目的消防車(LT21) について



バスケット付き21mブーム（屈折+伸縮）・水路管・水ポンプ・CAFS*・900L水タンク・および資器材収納庫を備える。バスケットは車いす・ストレッチャーに対応。屈折ブームを使用すると、地上揚程21m/地下揚程2mの範囲で活動が可能。消火・救助・資器材収納と多目的に活動できる車両。



- 配置場所 万博消防センター
- 運用隊 万博消防センター救助隊
- 出場基準 万博会場内事案
- 資格 大型自動車免許
- 運用開始日 令和7年2月1日

※CAFSとは・・・
圧縮空気泡消火装置のことで、水と消火薬剤を高圧の空気で混ぜて泡を作る装置のことを言います。これにより、水だけでは消えない火災にも大変有効であり、消火効率は水の約8倍となっています。ホースも軽く機動力も上がります！（当局未運用）

車両諸元

サイズ (L×W×H)	9,300×2,490×3,550mm 6人乗り
車両重量/ 車両総重量	16,050kg/17,430kg
積載量	水 900kg/資器材 150kg
ベース車両	SCANIA P360
燃料タンク	150L

【大容量型 400kgバスケット】



隊員(3名)+要救助者
計 360kg

+



活動資器材

40kg

バスケット担架設定可能！！

操作者の様子



バスケット設定の様子



放水の様子



いっしょに、いこな！ \ 2025年 大阪・関西万博 / ～これが万博消防センターだ！～

水槽付き EVポンプ車(ST1) について



EVシャシにモーターとポンプを架装し、走行用バッテリーを動力源として、ポンプを駆動させるEVポンプ車。ボールコックはすべて電動で、ポンプ室操作盤に加え、タブレットでの無線操作が可能。900L水タンク・左右貫通資器材庫・5本積みホースカー及び昇降装置・梯子昇降装置・吸管巻取装置を備える。

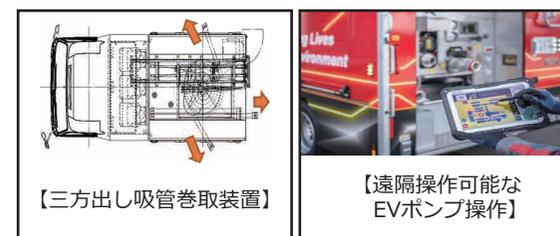


- 配置場所 万博消防センター
- 運用隊 万博消防センター消火隊
- 出場基準 万博会場内事案
- 資格 準中型自動車免許
- 運用開始日 令和7年2月1日

車両諸元

サイズ (L×W×H)	6,070×2,230×3,050mm 5人乗り
車両重量/ 車両総重量	6,585kg/7,485kg
積載量	水 900L
ベース車両	三菱ふそう eCANTER

主な装置



◆ バッテリー容量および走行距離

項目	内容
バッテリー容量	82kWh
走行距離	100km

フル充電時の現場では
消火活動1時間+残火処理活動3時間
の放水活動が可能

①コネクタを車両に



②モニターで残量確認



③充電中の様子



いっしょに、いこな！ 2025年大阪・関西万博 ～これが万博消防センターだ！～

いっしょに、いこな！ 2025年大阪・関西万博 ～これが万博消防センターだ！～

- 指揮システムについて**
- ◆EV指揮車内のディスプレイは、DX指揮車およびDX隊員装具と連携しており、車内と指揮本部とで相互の情報共有が可能となっております。現在も開発中ではありますが、次の事項がデジタル管理できるようになる予定です。
 - ◆メイン画面
BIMデータを活用し建物内部の状況や要救助者・隊員の位置を3Dで表示
※BIMデータとは…コンピューターで作成した、建物に関する様々な情報を付加した3Dデータ
 - ◆隊員情報管理
隊員のバイタルや活動時間などを管理
 - ◆要救助者情報管理
要救助者情報を一括管理
 - ◆トリアージ管理
トリアージ活動情報を一括管理
 - ◆映像管理
隊員やドローンが撮影した映像を表示
 - ◆車両動態管理
車両の稼働状況が確認可能
 - ◆AI指揮支援
指揮システムに蓄積される情報をもとに現場指揮活動をサポート
 - ◆通話テキスト化
指揮本部と隊員の通話を文字起こしする



EV指揮車



DX指揮車



相互の情報共有が可能



おわりに
今回は、大阪府警察会場警察隊 大阪・関西万博消防センター合同発足式及びEV指揮車とDX指揮車の指揮システムについて紹介しました。万博期間中には、本システムを活用した実証実験を実施し、未来社会における最適な消防活動の実現に向け取り組んでいく予定です。



DX隊員装具

車両諸元

指揮支援システム搭載車両	
名称	指揮支援システム搭載車両
全長	5.38m
全幅	1.90m
高さ	2.65m
走行可能距離	約200km
搭乗人員	3名（走行時2名）
車両表記	万博PI 1

EV指揮車について

EV指揮車は、万博消防センターに配備されており、前回ご紹介したEVポンプ車と同じく、ガソリンを一切必要としない電気自動車です。万博消防センターのガレージ内に設置されている急速充電器で充電します。

DX指揮車について

DX指揮車は、IT技術を駆使し、次世代の現場指揮機能を実現する資器材として、EV指揮車に搭載されています。タイヤが4本取り付けられた自走式となっており、前方に取り付けられたセンサーが目の前の人を認識し、自動追尾します。この機能により、災害現場において、大きな指揮車を手に抱えて搬送する必要がなくなり、迅速に指揮活動が開始できます。



体験コーナーで楽しく学ぶ

なんばパークスカーニバルモールでは、起震車による地震体験をはじめ、水消火器を使用した消火体験、子ども用防火衣を着てのミニ消防車と記念撮影などの体験コーナーを展開し、体験していただいた方にはオリジナルグッズをお渡ししました。

参加された方からは、「貴重な体験ができた」、「改めて災害について考えるきっかけになった」、「子どもの可愛い写真が撮れてよかった」などのお声をいただき、嬉しそうなお子どもたちの笑顔が印象的でした。



水消火器を使用した消火体験



ミニ消防車と記念撮影

体験コーナー



NHK大阪放送局による動画上映



起震車による地震体験

さいごに

年に2回、春と秋に実施しています、火災予防運動オープニングイベントは、市民の皆さまに火災予防の大切さを楽しみながら再確認していただく大切なイベントです。秋のイベント同様、今回も子どもから大人まで幅広い世代の方にご参加いただき、終始笑顔の絶えないイベントとなり、皆様に火災予防についての認識を高めていただくことができました。

言うたやん 燃えたら消える 思い出も

(令和6年度大阪市防火標語)

予防課では、大阪市防火標語のように市民の皆さまの印象に残り、より高い火災予防への意識を持っていただけるようなイベントを実施し、これからも市民の皆さまへ火災予防を働きかけてまいります。また、今後も、市民の皆さまの「安全・安心」、そして「笑顔」を守っていきけるよう、火災予防に取り組んでまいります。

春の火災予防運動 オープニングイベント



3月1日から7日まで、全国一斉に「春の火災予防運動」が実施されました。その一環として、大阪市消防局では、市民の生命、身体および財産を火災から守り、消防局運営方針に示す、市民が安心して暮らせる「災害に強いまち・安全な都市」の実現のため、また、令和6年度大阪市防火標語「言うたやん 燃えたら消える 思い出も」を多くの市民の皆さまに知っていただき、火災予防につなげていただくために大阪市内の各署で啓発活動などを行いました。



3月1日から7日の火災予防運動期間中の初日には、なんば広場及びなんばパークスカーニバルモールにてオープニングイベントを開催しました。イベントではステージイベントや体験コーナー、また吉本興業所属のお笑いコンビ「スマイル」のお二人を一日中央消防署長としてお迎えしました。

ステージイベントで火災予防を啓発

なんば広場で行われたステージイベントでは、一日消防署長の任命式のあと、「スマイル」のお二人が、日常生活に潜む火災危険についての軽快なトークと、火災予防をテーマにした漫才を披露。また、当局職員による火災実験講座にも加わっていただきました。実際に実験を体験し、コンセントを清掃する大切さや、エアゾール缶から出るガスの怖さについてのトークを混じえながら、観客の皆さまに楽しく火災予防を伝えていただきました。

